

服飾表現学科・ショープロデュース専攻

1.課程修了時の能力水準

ディプロマポリシーで定められているコースの専門職業人の人材育成を目標としている。

コースの課程修了時に達成されることが期待される能力の水準は「学生の学習成果の評価の方針（アセスメントポリシー）」の表に定められている水準である。

服飾表現における「ショー」に特化し、ステージ形態（舞台）、レイアウト等の造形プラン、音楽、ライティング、映像演出などの空間プラン、モデルのパフォーマンスなどの時間プランなどを総合したプロデュースとその運営能力の育成を目的とする。ショーやイベントのコンセプト立案から企画、制作まで観衆を魅了する空間を作るイベントプロデューサーやショースタッフなどの人材育成を目標とする。

2.各年次の能力水準

多くの卒業生に関わっている企業や卒業生の意見を基に各学年における到達目標を定めている。GPA 制度の評価方法は、科目の成績を 5 段階で評価したものに、S=4、A=3、B=2、C=1、D=0、のグレードポイント（GP）を付与し、奨学金の選抜や卒業時の代表の選考等に活用している。

2 年次：専門コースの基礎知識における学力到達目標

- ・ショーの企画、制作に関わる全般的な基礎知識を習得
- ・音響照明の機材、その操作の基礎的な知識を習得
- ・モデルを起用した基礎的な演出技術を養う
- ・ショーの衣装の構成に関わる基礎的な知識を習得
- ・ショーの音楽制作に関わる基礎的な知識を習得
- ・ショーのヘアメイクの基礎的な知識を習得
- ・内外のショーの鑑賞からグローバルな知識を身につけファッションレポートを作成しプレゼンできる能力を養う

：企業の実務認識を持つ

講師は現役のショープロデューサーやディレクター、音響ディレクター、照明ディレクター、ヘアメイクアップアーティスト等が担当し、実務の経験をもとに講義と演習を行い、ショープロデュースの認識を深める（全員）

：学部評価としての検定

- ・色彩能力検定 3 級（全員）

：評価基準（服飾表現演習、ショープロデュース I）

準備学習等の意欲や学習態度・姿勢… 30%

ショーの制作 … 50%

レポート作成・プレゼン能力 … 20%

：評価者

(学内) コース2年担当者評価

(学外) なし

3年次：専門コースの応用知識における学力到達目標

- ・ショーの企画、制作に関わる全般的な応用知識を習得
- ・外部のショー、イベントの制作会社、音響照明会社から協力を得てショースタッフとして参加しその実務経験からその応用知識を養う。
- ・スタッフとして参加したショーのレポートを作成し、その報告をプレゼン形式で発表し、プレゼンテーション能力を身につける。
- ・実務経験を経てより実践的なショーを企画し制作することで応用知識を高める
- ・ショーの企画制作のグループワークによって協調性、指示力を高める。

: 企業の実務認識をもつ

- ・東京コレクションをはじめとするショーやイベントにスタッフとして参加する (全員)

: 学部評価としての検定

- ・色彩能力検定2級 (全員)

: 評価基準 (ショープロデュースⅡ、ショープロデュースⅢ)

準備学習等の意欲や学習態度・姿勢	… 20%
学外ショー、イベントの参加	… 30%
ショーの制作	… 30%
レポート作成・プレゼン能力	… 20%

: 評価者

(学内) コース3年担当者が評価

(学外) なし

4年次：専門コースの卒業年次における学力到達目標

- ・より本格的なショーの立案から制作過程を構築しプロデュースする能力を高める
- ・実在する会場や舞台美術、音響照明会社等取材して実務的能力を高める
- ・企画立案から個別の研究テーマを設け、研究ノートとして執筆することで独自の発想力を身につける
- ・発想した企画制作案から客観的なプレゼンテーション能力を養う。

: 評価基準 (4年次授業科目名を書く)

準備学習等の意欲や学習態度・姿勢	… 30%
企画制作案の完成度	… 50%
プレゼンテーションの能力	… 20%

: 評価者

(学内) コース4年担当者が評価

(学外) なし